

## ユニバ支援業務に係る平成 23 年度計画の基本的考え方

## 1 事業計画関係

- (1) ユニバ支援業務の開始から 6 年目となる平成 23 年度は、基本業務である負担金の徴収事務及び交付金の交付事務を、外部監査による厳正なチェックの下に、より一層迅速・的確に推進する。
- (2) ユニバ支援業務全般について、より広く国民の理解を頂くため、これまでの実施結果も踏まえつつ、引き続ききめ細かな周知広報活動を実施する。  
なお、具体的施策の実施に当たっては、インターネットの多面的な活用や関係事業者との連携にも留意し、より効果的・効率的なものとなるよう努める。

## 2 収支予算関係

- (1) 支援業務に係る平成 23 年度予算は、予算額の圧縮に努めることとし、予算規模はこれまでの最小とした。

参考：H18 年度予算額	123.5 百万円
H19 年度	74.5 百万円
H20 年度	80.3 百万円
H21 年度	70.3 百万円
H22 年度	69.3 百万円
H23 年度	68.7 百万円

- (2) 支援業務に係る予算費目ごとの考え方は以下のとおりである。  
周知広報費については、活動内容(別紙)を維持しつつも、前年度予算に対し約 109 万円の減とした。  
周知広報費以外は固定的経費であり、平成 22 年度の実績見込額を配慮しつつも、基本的には 22 年度予算額をベースに作成した。

# 別紙

## 【年度別の周知広報活動と予算額】

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 見込み
周知広報	新聞広告(一般紙)	新聞広告(一般紙)	新聞広告(一般紙) 突出し	新聞広告(一般紙)	新聞広告(一般紙)	新聞広告(一般紙)
	ホームページ	ホームページ	ホームページ	ホームページ	ホームページ	ホームページ
	パンフレット	パンフレット	パンフレット	パンフレット	パンフレット	パンフレット
		自動音声・FAX応答 システム整備	自動音声・FAX 案内サービス	自動音声・FAX 案内サービス	自動音声・FAX 案内サービス	自動音声・FAX 案内サービス
		新聞広告 (消費経済新聞)	新聞広告 (消費経済新聞)	新聞広告 (消費経済新聞)	新聞広告 (消費経済新聞)	新聞広告 (消費経済新聞)
			新聞広告 (リビング新聞)	新聞広告 (リビング新聞)	新聞広告 (地域コミュニティ紙)	
			地方見学会	地方見学会	地方見学会	地方見学会
			WEB広告	WEB広告	WEB広告	WEB広告
				消費者団体との パイプづくり	消費者団体との パイプづくり	消費者団体との パイプづくり
小計	70,228 千円	24,520 千円	21,000 千円	20,845 千円	19,905 千円	18,820 千円
コール センター	27,000 千円	12,190 千円	20,424 千円	9,920 千円	9,920 千円	9,920 千円
合計	97,228 千円	36,710 千円	41,424 千円	30,765 千円	29,825 千円	28,740 千円